

件名: 6年1月号会長通信 法則と境

6年1月号会長通信

法則と境

致知編集長 藤尾秀昭のCDを聞き考え込みました。この中に古典、歴史、人物、大学、明德、タテヨコの価値観、法則、全ての人には封書が貰って生まれてくる、到知の意味、人間学、憤などが出てきます。

今までどの様にすれば皆さまがイキイキと楽しく仕事ができるのかを模索してきましたが、実はそれ以前に私たちはどう生きるのかがまず必要なのではないかと思えます。江戸時代の勉強は人がどう生きるのかが基本ベースにありました。しかし、私たちは学校でも親からもどう生きるかは教わっていません。このCDを聞いていると人はどう生きれば成功し、どう生きれば失敗するのかがトツトツと語られています。私たちにいろいろな失敗があります。いろいろのトラブルに遭遇します。その失敗やトラブルの奥に、見栄、見てくれ、外見をよく見せよう、優位に立とう、人より上回ろう、人に自慢しよう、自分の領域を作る、部分を見て全体を見ない、弱い部分を見せたくない、私利私欲で生きようなどがあります。人間的に成長しなければ、他人と比較し自らの行動を決めてしまいます。実は他人との比較で自分が決まる訳ではありません。自分は自分なのです。

特に今回法則、と境について書きたいと思えます。どうやらこの宇宙には法則があります。物理の法則で慣性の法則、作用反作用の法則などを理科の時間で習ったと思えます。心の世界にも法則があります。

求める人と出会う、思いは伝わる 思いは移る、すべての自分のなした事を受取人は自分、人は、人になした事を必ず受け取る、必死に目の前の事を全力を尽くせば、道は開ける、感謝の生活をすると道は開ける、です。

仕事で成功する為には成功する為の法則があります。失敗するのには失敗の法則があります。自分の利益の事ばかりを考えれば失敗する、会社の売上利益ばかりを考えれば失敗する、誰かを助ければ、自分が助けられる様に出来ています。お金を追うと上手く行かなくなる。精一杯仕事をするとうまく行く、人の役に立つ事をするとう命は輝く。このCDの中でタテヨコの価値観の話があります。横軸の価値観他社と比べて、競合と比べて、人と比べてだと、右に左にフラフラする。

縦軸の価値観は古典と歴史で生き方を学ぶ。そうすると横から風が吹いて来てもクロスする。人間学の必要性を説いています。今まで学校でも親からも教えて貰えなかった、自分はどう生きるのかを勉強する必要を痛感します。皆さまいかがでしょうか。せっかくほづみに入社したのだから、自分の生き方を勉強してみませんか。到知は人間学です。到知の雑誌が各店に毎月届いています。その中の興味のある記事をミーティングの席で意見を出し合いませんか。ほづみでいろいろなトラブルが起きるのもこの人間学、人間力の欠如です。古典大学の中に明德を明らかにするにありとあります。この言葉は深くて難しいですが、基本は「全ての人には封書が貰って生まれてくる」と森信三は言っていますが、一人ひとりがその封書を開けることです。その封書にはあなたはどう生きなさいと書いてあるそうですが、大方の人は開ける事が出来ないで人生を終わってしまうそうです。開けるのが難しければ、いつも開ける方向に向かって歩くことです。自分自身はどう生きるのか。何に貢献出来るのか。少なくとも全員がその方向に向かって進んで行きたいと願っています。すると見栄、見てくれ、外見をよく見せよう、優位に立とう、人より上回ろう、人に自慢しよう、私利私欲的な生き方が少しでも収まり、本当に切磋琢磨、居ごちの良い素敵な会社になっていくと思っています。

もう一つ墳です。墳は感動、感激をすること。いかかでしょうか、皆さま熱い思いで仕事をしていますか。青木 仁志は自分が幸せでない、他人を幸せにはできない。菌部さんは自分が本気に楽しまないと、相手を本気に楽しませることは出来ない。と言っています。自らが燃えないとお客様も周りも燃えません。ダスキン経営理念の「一日一日今日こそは」は今日一日熱い思いで仕事をしようです。稲盛和男の方程式にも熱意が入っています。一日ただ時間でいて終わりの仕事や何も考えず仕事をしていると、仕事がつまらなくなります。仕事の意味を理解し、改善工夫をし、その改善工夫が世の中に貢献出来、会社にも利益をもたらすなら、回りまわって自分にも返ってきます。人に喜ばれるはやりがいに繋がります。一日一日一生だと思って、今日しかない気持ちで、熱い思いで仕事をしたいと思います、吉田松陰は多くの門弟を育てましたが、どうしても育てられない3人がいたそうです。その3人は感動、感激をすることが不足していた為、吉田松陰でさえ育てられなかったそうです。仕事には墳が必要です。熱い思いが必要です。自分の仕事に本当にこれで良いのかと謙虚な気持ち、素直な気持ち、他の人に自分の仕事の改善点、もっと深めるのにはどの様にすれば良いのか、今行っている仕事が本当に今のままで良いのか素直に聞く勇気が必要です。どうぞ自らの仕事のチェックを行って下さい。致知の読み合わせを行って下さい。ぜひ藤尾秀昭のCDを聞いて下さい。希望者は穂積まで。